

三重県ひきこもりに 関する実態調査

ご協力のお願い

- この調査は、三重県からの委託を受け、一般社団法人ひきこもりUX会議が実施するものです。
三重県では、令和3年度に策定した「三重県ひきこもり支援推進計画」が令和6年度に計画期間の最終年度を迎えることから、次期計画策定に向け県内で約2万人と推計されるひきこもり状態にある方やそのご家族の現状ならびに支援の現況や課題を深く理解し、ニーズに合った効果的な支援策を構築することを目指しています。
- 調査対象
三重県子ども・福祉部 地域福祉課 ひきこもり支援班が把握している、**三重県のひきこもりに関わる支援機関**

※ひきこもりの定義について

三重県では、「ひきこもり」について以下のように定義しています。

- ①学校や仕事等の社会活動に参加せず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、原則6か月以上にわたって自宅にとどまり続けている状態の方。
- ②学校や仕事等の社会活動に参加せず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物や趣味の用事など他者と交わらない形で外出することがある方。

今回の調査では、この定義を基準としますが、**ひきこもり期間や程度が確認できていない場合でも、上記の定義に該当する、またはこれに類すると推定されるケースについては、「推定ひきこもり」とみなして回答してください。**

- 公表に際しては、統計的な情報に加え、みなさまから得られた情報についても言及する場合があります。
- 調査の分析結果については、三重県のWebサイトや受託者のブログ等において公表する予定です。

回答時間の目安：10～15分程度

回答締切：2024年8月31日（土）までに投函

ご記入に際してのお願い

1. 回答は、**機関を代表し、どなたか1名**が回答してください。実際にひきこもり支援に携わっている方が望ましいです。なお、本調査への回答は、所属機関の公式見解や総意としては取り扱いませんが、可能な範囲で機関ないし、部署の考えが反映されるように回答していただけると幸いです。
2. 質問は、番号順にお答えください。最も近いと思う選択肢をお選びください。答えられない質問がある場合は、飛ばして次の質問にお進みください。
3. 回答で「その他」を選択して具体例を記入するときは、可能な限り詳しく記入してください。
4. 記入が終わりましたら、回答漏れがないかご確認願います。

調査主体／受託者・お問い合わせ

【調査主体】三重県 子ども・福祉部 地域福祉課 ひきこもり支援班

【受託者】一般社団法人ひきこもりUX会議

▶調査・回収についてのお問い合わせは、一般社団法人ひきこもりUX会議までお寄せください。
メール：event@uxkaigi.jp

設問

問1 貴機関について、該当するものを選択してください。【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 三重県ひきこもり地域支援センター | 2 市町ひきこもり相談窓口 |
| 3 社会福祉協議会 | 4 生活困窮者自立相談支援機関 |
| 5 福祉事務所 | 6 保健所 |
| 7 地域包括支援センター | 8 在宅介護支援センター |
| 9 児童相談所 | 10 障がい者（総合）相談支援センター |
| 11 就労支援機関（サポステ、障がい・生活支援等） | 12 医療機関（精神科・クリニック） |
| 13 教育支援機関（教育支援センター等） | 14 民間支援団体（NPO等） |
| 15 家族会・当事者会 | 16 その他（ ） |

問2 貴機関の所在する市町を教えてください。【あてはまるもの1つに○】

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1 桑名市 | 2 いなべ市 | 3 木曽岬町 | 4 東員町 |
| 5 四日市市 | 6 菰野町 | 7 朝日町 | 8 川越町 |
| 9 鈴鹿市 | 10 亀山市 | 11 津市 | 12 松阪市 |
| 13 多気町 | 14 明和町 | 15 大台町 | 16 伊勢市 |
| 17 鳥羽市 | 18 志摩市 | 19 玉城町 | 20 度会町 |
| 21 大紀町 | 22 南伊勢町 | 23 伊賀市 | 24 名張市 |
| 25 尾鷲市 | 26 紀北町 | 27 熊野市 | 28 御浜町 |
| 29 紀宝町 | | | |

問3 貴機関がひきこもりに関わる支援・サービスや取り組み（以下「支援・サービス」とする）を始めてからどれくらいの期間が経過していますか。【あてはまるもの1つに○】

- | |
|---------------------------------|
| 1 1年未満 → 問4へ |
| 2 1年以上3年未満 → 問4へ |
| 3 3年以上5年未満 → 問4へ |
| 4 5年以上10年未満 → 問4へ |
| 5 10年以上 → 問4へ |
| 6 現在支援は行っていないが、今後予定している → 問18へ |
| 7 現在支援は行っておらず、今後も予定していない → 問18へ |

問4 貴機関が支援・サービスで対応した当事者のおおよその実人数（1か月平均）をお答えください。
（令和5年度を基準とし、相談、訪問、居場所等すべて含める）【あてはまるもの1つに○】

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1 利用者はいない | 2 1～2人/月 | 3 3～5人/月 | 4 6～9人/月 |
| 5 10～14人/月 | 6 15～19人/月 | 7 20～29人/月 | 8 30～39人/月 |
| 9 40～49人/月 | 10 50人以上/月 | | |

問5 貴機関が支援・サービスで対応したご家族のおおよその実件数（1か月平均）をお答えください。
（令和5年度を基準とし、相談、訪問、居場所等すべて含める）※1家族を1件と数えてください。
【あてはまるもの1つに○】

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1 利用者はいない | 2 1～2件/月 | 3 3～5件/月 | 4 6～9件/月 |
| 5 10～14件/月 | 6 15～19件/月 | 7 20～29件/月 | 8 30～39件/月 |
| 9 40～49件/月 | 10 50～69件/月 | 11 70～99件/月 | 12 100件以上/月 |

問6 令和5年度の新規利用者のうち、現在も継続的に関わっている当事者はどれくらいいますか。
【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 継続している利用者はいない | 2 約1割が継続している |
| 3 約2割が継続している | 4 約3割が継続している |
| 5 約4割が継続している | 6 約5割が継続している |
| 7 約6割が継続している | 8 約7割以上が継続している |

問7 令和5年度の新規利用者のうち、現在も継続的に関わっているご家族はどれくらいいますか。
【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 継続している利用者はいない | 2 約1割が継続している |
| 3 約2割が継続している | 4 約3割が継続している |
| 5 約4割が継続している | 6 約5割が継続している |
| 7 約6割が継続している | 8 約7割以上が継続している |

問8 貴機関の令和4年度と令和5年度を比較して、利用者数の増減についてお答えください。【あてはまるもの1つに○】

- | |
|--------------|
| 1 増えた |
| 2 変わらない（横ばい） |
| 3 減った |

問9 貴機関が提供している支援・サービスの形態について教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- 1 対面による相談（来所）
- 2 メールによる相談
- 3 電話による相談
- 4 SNSによる相談
- 5 自宅などへの訪問（アウトリーチ）
- 6 心理相談（カウンセリング含む）
- 7 医療的支援
- 8 一般就労（非正規雇用含む）に向けた支援
- 9 中間的就労（一般就労に向けた軽易な作業）の機会
- 10 福祉的就労（障がい者雇用等）に向けた支援
- 11 当事者向けの居場所の開催
- 12 家族会の開催
- 13 地域住民向けの講演会や普及・啓発活動
- 14 他の機関との連携、連絡調整（支援方針を検討するための会議など）
- 15 その他（

）

問10 貴機関が提供している支援・サービスの形態のうち、特に必要性が高いと感じているものは何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 対面による相談（来所）
- 2 メールによる相談
- 3 電話による相談
- 4 SNSによる相談
- 5 自宅などへの訪問（アウトリーチ）
- 6 心理相談（カウンセリング含む）
- 7 医療的支援
- 8 一般就労（非正規雇用含む）に向けた支援
- 9 中間的就労（一般就労に向けた軽易な作業）の機会
- 10 福祉的就労（障がい者雇用等）に向けた支援
- 11 当事者向けの居場所の開催
- 12 家族会の開催
- 13 地域住民向けの講演会や普及・啓発活動
- 14 他の機関との連携、連絡調整（支援方針を検討するための会議など）
- 15 その他（）

問11 貴機関では、ひきこもり状態にある方をどのような機会に把握することが多いですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 当事者本人からの相談
- 2 ご家族からの相談
- 3 近隣住民からの相談や情報提供
- 4 民生委員・児童委員からの情報提供
- 5 医療機関からの情報提供
- 6 介護サービス事業者からの情報提供
- 7 教育関係機関（学校、教育委員会等）からの情報提供
- 8 行政機関・社会福祉協議会からの情報提供
- 9 把握できていない
- 10 その他（）

問13 貴機関が組織として支援・サービスを行う上で、特に課題として感じているものについて、教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 支援者向けの研修機会の不足
- 2 ひきこもり支援のための予算不足
- 3 ひきこもり支援のための職員不足
- 4 一定の期間で成果（就労等）を求められる
- 5 地域の他機関との連携がない
- 6 県・他市区町村との広域連携がない
- 7 家族会、当事者団体との連携がない
- 8 地域の支援機関が網羅された情報がない
- 9 ひきこもりに対する地域や社会の無理解
- 10 地域にひきこもりに関わる社会資源（就労先、協力者等）がない
- 11 その他（ ）

問14 若年層（概ね39歳以下）への支援・サービスを行う上で貴機関が感じている課題について教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- 1 ひきこもりについての知識やノウハウが足りない
- 2 家族は支援につながっているが、本人につながることができない
- 3 家族とも本人ともつながることができない
- 4 本人が一人暮らしでアプローチが難しい
- 5 本人や家族から相談があっても、継続せず相談が途切れてしまう
- 6 長期（概ね10年以上）ひきこもり事例への対応が難しい
- 7 本人と家族の認識にギャップがあり、家族関係の調整が難しい
- 8 支援の効果や成果が見えにくい
- 9 ひきこもり事例が多様であり、目指すべき方向性が定めにくい
- 10 本人の身体的な健康問題への対応が難しい
- 11 本人の精神的な問題への対応が難しい
- 12 地域に本人に合う職場が少なく、就労支援が困難である
- 13 学齢期（高校生相当まで）を過ぎると支援が途絶えてしまう
- 14 その他（ ）

問15 中高年層（概ね40歳以上）への支援・サービスを行う上で貴機関が感じている課題について教えてください。
【あてはまるものすべてに○】

- 1 ひきこもりについての知識やノウハウが足りない
- 2 家族は支援につながっているが、本人につながるできない
- 3 家族とも本人ともつながることができない
- 4 本人が一人暮らしでアプローチが難しい
- 5 本人や家族から相談があっても、継続せず相談が途切れてしまう
- 6 長期（概ね10年以上）ひきこもり事例への対応が難しい
- 7 本人と家族の認識にギャップがあり、家族関係の調整が難しい
- 8 支援の効果や成果が見えにくい
- 9 ひきこもり事例が多様であり、目指すべき方向性が定めにくい
- 10 本人の身体的な健康問題への対応が難しい
- 11 本人の精神的な問題への対応が難しい
- 12 地域に本人に合う職場が少なく、就労支援が困難である
- 13 8050問題についての知識やノウハウが足りない
- 14 その他（ ）

問16 貴機関が支援・サービスにおいて注力していることについて教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- 1 広報活動に力を入れている
- 2 利用にあたり、年齢制限や居住地制限を設けていない
- 3 個別支援において、できるだけ担当者が変わらないようにしている
- 4 訪問支援（アウトリーチ）を積極的に行っている
- 5 個人のニーズに合わせた支援・サービスを提供している
- 6 当事者や家族の活動を支援している
- 7 他機関と連携し、複合的な課題に取り組んでいる
- 8 近隣地域の支援機関と広域的な連携を推進している
- 9 職員・スタッフの研修・セミナー等への参加を積極的に奨励している
- 10 ひきこもり支援の予算確保に力を入れている
- 11 支援スタッフのメンタルヘルスのサポートに取り組んでいる
- 12 その他（ ）

問17 支援・サービスにおいて、連携している関係機関がありましたら教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 三重県ひきこもり地域支援センター | 2 市町ひきこもり相談窓口 |
| 3 社会福祉協議会 | 4 生活困窮者自立相談支援機関 |
| 5 福祉事務所 | 6 保健所 |
| 7 保健センター | 8 地域包括支援センター |
| 9 在宅介護支援センター | 10 児童相談所 |
| 11 障がい者（総合）相談支援センター | 12 就労支援機関（サポステ、障がい・生活支援等） |
| 13 医療機関（精神科・クリニック） | 14 教育支援機関（教育支援センター等） |
| 15 民生委員・児童委員 | 16 民間支援団体（NPO等） |
| 17 家族会・当事者会 | 18 連携している機関はない |
| 19 その他（ | ） |

問18 支援・サービスを行う上で、貴機関の職員・スタッフが特に理解を深めた方が良いと思うことを教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 支援の具体的なノウハウ | 2 長期・高齢ひきこもりケースへの対応方法 |
| 3 当事者の心理の理解 | 4 多様な支援のゴール |
| 5 利用可能な社会資源（福祉サービス等） | 6 支援者に求められる姿勢 |
| 7 支援者自身のメンタルヘルスとセルフケア | 8 他のひきこもり支援機関の取組や事例 |
| 9 効果的な広報や発信のためのノウハウ | 10 他機関と連携した複合的な課題への取り組み方 |
| 11 近隣地域の支援機関との広域連携の進め方 | 12 その他（ |
| | ） |

問19 支援・サービスを行う上で、貴機関の職員・スタッフの知識や理解度について、全体的な傾向をお答えください。

	十分理解している	ある程度理解している	あまり理解していない	まったく理解していない
1 ひきこもりについての現状や背景について	1	2	3	4
2 当事者の心理について	1	2	3	4
3 支援の具体的なノウハウについて	1	2	3	4
4 支援における関係機関との連携の進め方について	1	2	3	4

問20 ひきこもりに関わる支援・サービスについて、課題や日頃感じていること、三重県への要望など、ご自由にご記入ください。

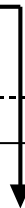
ヒアリング調査のお願い

今回の調査では、アンケートだけではくみ取ることのできない実情や考えを理解することを目的に、ひきこもり支援に携わる方を対象に個別ヒアリング（聴き取り）調査を実施します。ヒアリング方法はZOOMなどを使用したオンラインで、日程は2024年8月から10月頃、所要時間は1時間から1時間半程度を予定しています。

個別ヒアリングへのご協力は任意です。ご協力いただける方には、後日受託者（一般社団法人ひきこもりUX会議）より日程調整の連絡をさせていただきます。なお、多数のお申し出があった場合は、調査趣旨に沿って対象者を選定させていただく場合があります。

- 1 個別ヒアリングに協力してもよい

2 個別ヒアリングは遠慮します→アンケート終了



個別ヒアリングに協力していただける方は、お手数ですが以下に連絡先をご記入ください。

ご提供いただく個人情報は本調査の依頼にのみ使用し、それ以外では使用いたしません。

お名前

所属機関等

メールアドレス

電話番号

※個別ヒアリングにご協力のお申し出をいただいた方で、9月13日（金）までにひきこもりUX会議からのメールが届かない場合は、ご利用のメールソフトの迷惑メールフォルダに「event@uxkaigi.jp」からのメールが届いていないかご確認ください。また、パソコンから送信されたメールを受信しない設定になっている方は、メール受信設定で受信許可リストにuxkaigi.jpを含めるように、ご利用のメールソフトの設定をご確認ください。

アンケートは以上です。
ご協力いただき、ありがとうございました。

調査や回答内容について、何か補足事項があれば
受託者（一般社団法人ひきこもりUX会議）までご連絡ください。

event@uxkaigi.jp